

山田学区

社協だより

第 58 号

発行
山田学区
社会福祉協議会

ごあいさつにかえて

会長 岡 顯 朗

学区の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃から、学区社協の活動には格別のご理解とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

このたび、五月の総会で引き続き会長を仰せつかりました。役員各位と学区民の皆様を頼りに精一杯務めますのでよろしくお願いいたします。

去年度は、山田学区住民福祉活動計画の策定をいたしました。このことは、前回の社協だよりでもお知らせいたしました。この策定過程におきまして、わたたくしは大切なことに気が付きました。それは、わたたくしひとりひとりが「何をしてもらえるか」ではなく、「何ができるか」であり、このことから、背伸びをしない、自分たちの身の丈に合った計画であることが必要と気づいたのであります。

もちろん、今までの活動は行っていくことが必要です。ちよつとも変わっていないとも言われますが、ずーと変わらず、安定して継続することも、福祉の原点とも考えています。

そのうえで、これらを踏まえての活動計画をたてましたので、着実に実行するとともに、あらたな二一ズを見逃

すことなく計画のチェックを行い、「ひとひとのつながりを求めて」進んでいきたいと考えています。

さて、去る九月十九日、敬老の日に武道館におきまして敬老会を開催いたしましたところ、学区内にお住まいの七十歳以上の方、四百名余りが出席いただき、ありがとうございました。

祝賀式では、草津市長様、衆議院議員三日月大造様はじめ、多数のご来賓ご臨席のもと、盛大にとりおこなわれました。来賓のお祝いにつづきまして、山田小学校児童によります、おじいちゃん、おばあちゃんにたいする暖かい思いやりのある作文を披露していただき、会場を和やかにしていただきました。

午後からのアトラクションでは、園児や小学生はじめ、学区内の演芸サークルの皆さんが、日ごろ鍛えた腕前を披露していただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。

こうした敬老会を始め、社協の各種事業には、学区内の多くのかたのお力添え、ご協力のうえで成り立っているものありますことに、心からお礼申し上げます。

ボランティア交流会

ボランティア連絡協議会 藤井清忠

去る平成二十三年八月三十一日南笠公民館において、老上、山田両学区ボランティア連絡協議会の皆さんの交流会を開催しました。

老上学区のボランティア

協議会は市内でも多くのボランティア団体で構成され、各々が地域のニーズに合ったユニークな活動をされています。

例えば、スクールゾーン

で朝のあいさつ運動、ゆるキャラ「タイガークサツくん」

のプロデュース、お使いサークル活動、高齢者見守り手伝い活動、資源リサイクル活動、男

料理教室、庭木の剪定作業、清掃、木工具の補修、施設訪問慰

労、はがき、カードの収集、敬老会行事の支援

など、また年一回の福祉まつりのイベント開催

とまことに多彩です。でも、山



田のボラ連同様、会員の高齢化、後継者問題もあるそうです。

少しでも地域の皆さんの要望を受け入れて、みんなに喜んでもらえる団体を増やすことが出来ないだろうか？ 知恵を出し

合い社協とも連携を取りながら一人でも多くの方の笑顔が見られるよう頑張ろうと、交流

を通じ改めて想いました。

田のボラ連同様、会員の高齢化、後継者問題もあるそうです。

山田なごみの会が表彰される

草津栗東防犯自治会・草津警察署から

社協のボランティア団体、山田なごみの会の皆さんが、平成二十三年七月十六日、草津栗東防犯自治会草津警察署から表彰を受けられました。

安全で明るく住みよい地域づくりを目指して、地域において毎日保護者と連携し児童の見守り活動を実施

され、地域の防犯に尽力された功績による表彰とのこと、たいへんおめでとうございます。これからはますますのご活躍を期待いたします。



各町の福祉委員紹介

- 中島 成男 (北山田)
- 中島富治一 (北山田)
- 平井 善次 (五條)
- 山岡 健次 (山田)
- 井上 政江 (陽ノ丘団地)
- 北川 曉美 (陽ノ丘団地)
- 岸本 力 (南山田)
- 馬場 貢 (南山田)
- 久泉 芳枝 (不動浜)
- 松田 直美 (岡)
- 長谷川弘一 (南山田団地)
- 荒田千登勢 (新南浜)
- 今津 庄治 (御倉)
- 山中 秋夫 (新田)
- 山内 久代 (新田)
- 久保 義勝 (出屋敷)
- 奥野カヲル (出屋敷団)
- 青木 正巳 (出屋敷団)
- 柴田 良弘 (木川)
- 管 昭之 (木川)
- 山中美智子 (木川)



地域サロンの紹介

現在、山田学区では十五の地域サロンがそれぞれユニークな活動をされています。それらの地域サロンを一つずつ紹介してまいります。

「あおばなの家」 十周年を迎えて

木川宅老所「あおばなの家」が発会から十周年を迎えました。無事ここまでこ

られたのも町内の皆様、地域の方々のお力添えの賜物と感謝をしております。



「あおばなの家」は八十歳以上の男女と、ボランティア十二名で構成し、三十名余りが木川町農業会館に毎月第二、第四水曜日に集まっています。家族がいても昼間はお勤めがあるのでお年寄りが一人で淋しく食事をするのではなく、「ひとりぼっちじゃないよ」、「皆で楽しく食事しましょう」と集まりました。ワイワイとおしゃべりしたり、歌をうたったり、手遊び等、

仲間と話、笑い、一緒に仲良く食べることで認知症予防の手助けになればと行っています。

利用者が作られた作品がすばらしいので五年前から作品展を始め、町内の皆様からも作品を募集し、秋の文化祭として町内の一つの行事となりました。今年も十周年で、作品展、余興、かやくご飯



やみたらし団子の販売、おぜんざいとコーヒーは無料で接待をしました。利用者の皆様もお手伝いをしていただき、和気あいあいの秀



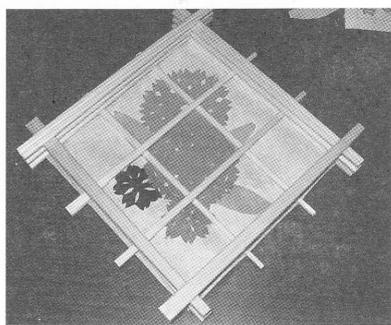
ました。

この文化祭は、木川の秋の行事として今後も続けていきたいと願っています。皆様のご支援、ご協力に感謝を申し上げます、今後ともよろしくご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

ずいぶん災害の多い一年でしたが、早くも十二月を迎えました。

新しい試みとして、学区内の地域サロンの紹介を始めました。サロン関係者のみなさんの参考になれば幸いです。



囲気でした。子どもさんも楽しく参加され、町内が一丸となった行事だったと喜んでおります。

また、資源回収と、バザーで得たお金は、被災地への義援金として寄付いたし